

# 人権啓発合同フィールドワーク ...甲南にある「やまなみ工房」へ



施設長の山下完和さん(左写真)より「障がい

は「障がい者問題は誰の問題」などのお話のあと、工房に通う自

柘植地域人権啓発合同事業として12区合同で毎年、近隣と遠方の2回の人権フィールドワークを行っています。本年度の近隣人権フィールドワークは5月19日(木)に滋賀県甲賀市にある障がい者多機能型事業所である「やまなみ工房」へ行きました。



うその人らしく生きることが大切にし、あるがままを認められて存在できる場所、それが「やまなみ工房」でした。自慢の人たちに直接お会いさせていただき、ありのままに個々が大切にされ、認められた空間で生き生きと自分らしく生きることのすばらしさを柘植地域にも、という思いがひろがりました。

人権啓発合同事業実行委員会

慢の人たちを紹介していただきました。粘土や絵を描くのが好きな人、じっとするのが好きな人、好きなことや得意なことは様々ですが、その表現の多くは一般社会の中で仕事に結びつきにくく、その価値や彼らの本質まで見失われがちです。

**やまなみ工房 INFORMATION** <公式ウェブサイトより>

ギャラリー-gufguf 開館日：月～金の10時～17時 (予約不要、無料)

〒520-3321 甲賀市甲南町葛木872番地 (ハートヘルスパーク甲南内)  
TEL 0748-86-0334 FAX 0748-86-8911 JR甲南駅下車、徒歩約15分。



**発行** 柘植地域まちづくり協議会事務局  
(柘植地区市民センター内)  
伊賀市柘植町一〇六四七番地  
〒五二九一四〇二  
電話 四五・八八八〇 FAX 四五・八八八三

**発行日** 二〇一六(平成二十八)年六月十五日(水)



まきに精を出しました。今年には枝豆の収穫を増やし、10月8日、9日、10日の3日間、標準を当日の予定で、新鮮さが命です。圃場で直接刈りたての枝豆を販売する予定です。



# 「播種」しました!

6月4日(土)午前、あけぼの学園高校の学生さんとともに、野村の圃場で黒豆の播種(たねまき)をしました。

今年栽培面積を昨年の1.5倍の約2千500㎡に増やし、昨年は100kgだった収穫量を今年130kgとする目標を立て、総勢19名が種



また、黒豆を主体にした黒豆大福は「つげまる大福」(右写真)として、JAひそごにて桔梗屋さんが販売しています。ぜひご賞味してください。

**伊賀の つげまる大福**  
1パック2個入り 320円



## なつかしい青春! 歌声喫茶



5月21日(土)午後、ふれあいコンサート「愛と平和のコンサート」が開催されました。  
今回は元「五つの赤い風船」のメンバーの長野たかし&森川あやかさんを招いてライブコンサートを行い、後半は「みんな歌おう青春の歌」と題し、会場の皆さんと青春賛歌を長野たかしの伴奏で、歌声喫茶の雰囲気を楽しみました。  
会場は2人の楽しいトークと歌声で集まった40人と共に一つになって盛り上がっていました。後半は歌詞カードを片手に全員が懐かしの歌を口ずさみ青春を取り戻しているようでした。

教育文化部会

## 柘植中学生のまち協訪問

6月7日(火)午後、柘植中学校1年生(16名)が市民センターを訪問し、地域学習に取り組みました。

『伊賀市自治基本条例』に基づくまちづくり協議会の成り立ちや、現在の「少子高齢化・人口減少」、「福祉」や「環境」などさまざまな実態や課題をふまえた活動にまちづくり協議会が取り組んでいることを学んでいただきました。事前学習で質問内容を考えてあったためか、積極的に次々と質問をしてくれました。



**2025年あなたは何歳?何をしているかな?**

最後には一人ひとりが感想を述べてもらいましたが、「まちづくりの活動に関心を持って、参加していきたい」などの意見もあり、将来を担う若者たち(中学生)に、私たち役員も頼もしさを実感しました。

お知らせ

今年の実施できるかな?

## 山開き登山のお誘い

余野公園保勝会

今年も、奥余野森林公園山開きの日に「第六回登山」を左記のとおり計画しました。(別紙にて文書回覧中)

実施に際しては、東海自然歩道パトロール隊がサポートをしますので、安心してご参加下さい。



○日時：7月10日(日)

〈雨天中止〉

8時30分 山開き行事

都美恵太鼓の演奏やマスの放流・つかみ取りを実施

登山出発

10時 帰着予定

○集合場所：奥余野森林公園駐車場

○登山コース(予定)

森林公園くそろそろ峠く北打山く旗山く熊鷹神社く森林公園・解散

○対象者：中学生以上

○応募方法：市民センターに「申込用紙」を備えています。来館の上、

直接申し込んでください。

○申込締切日：6月30日(木)

○その他

①必ずパトロール隊と行動を一緒にしてください。

お知らせ

7月3日(日)午後1時30分

## 地域で見守りおやく防災事業

自主防災実行委員会他

伊賀市健康推進課主催で、民生委員児童委員連合会や社会福祉協議会、消防団女性部、ならびに柘植地域まちづくり協議会が後援する防災学習会です。(会場は柘植地区市民センター)

小さなお子さんがいらっしやる保護者を対象にしていますが、地域全体でいざというときに備えてみんなで学びあう機会です。「つながり」や「支え合い」を深めるのは、こうした機会の「出会い」から始まります。

「ママバッグ」をはじめとする防災グッズの展示や非常食の試食、グループワークなどを通じて、柘植地域の防災システムについても理解いただけることとしたいと思います。

シリーズ 柘植の歴史と民俗を学ぶ⑥

「柘植のホント!かるた」より

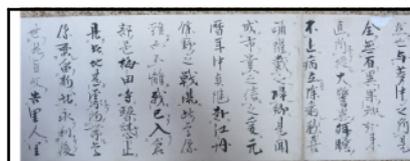
やくしじ ほんぞん と ばいでんじ  
**薬師寺の本尊 問えば 梅田寺**

倉部の薬師寺の本尊「薬師如来立像」は、鎌倉～室町時代に創建されたとされる梅田寺の本尊で、山田郡(大山田村)平家の勇士・平田貞継入道の奉納によると伝えられている。

梅田寺は、最近まで幻の寺とされていたが、昭和48年名阪国道上柘植インターから滋賀県へのバイパス工事中に五輪塔や骨壺が出土しその存在が確認された。場所はバイパスが倉部・小杉線と交わる信号のある交差点の少し南側、「清水山」と呼ばれる山の中である。



平田貞継と薬師如来との関係は「伊賀国倉部邑薬師如来縁起」(漢文で書かれており字数は472字)に書かれている。



縁起には、当寺の本尊薬師如来は弘法大師の自作である。昔貞継が難病に罹り、遠く離れた三河(愛知県)の蓬萊山薬師堂に籠り断食して一心に祈願していたところ、夢の中に現れた老翁より身の丈七寸ばかりの薬師尊像を賜った。病はたちどころに癒え、厨子に納め家に持ち帰った。近江伊賀二州にまたがる余野の戦場にもわが身離さず持って行ったが戦い利あらず倉部邑(村)に戻って梅田寺に一休みした折、霊山から府中一之宮さらに西の彼方に臨む大和の山並みを見て「この倉部邑は霊地で本尊にふさわしい土地だ。きっと後世万万代まで多くの人々に利益を授けたもうであらう」と持仏である薬師如来像を梅田寺に奉納した。その後寺号も薬師寺と改められた。以来ご本尊薬師如来は霊験あらたかで眼で拝めば罰が当たると540年余り誰一人として御厨子を開けて拝んだことはなかったと由来が書かれ、「時に享保10年(1725年)3月8日如来開帳に因んで 廣禅寺十七世黙堂これを記す」と結ばれている。なお、この御開帳法要の折、倉部だけでなく上柘植里人の総意によって「三十三年目毎に本開帳、十七年に中開帳」という規約が作られた。そして昨年(平成27年)11月8日第10回の本開帳が行われたところである。(田中重之)

▼少し先の話ですが、議会報告会が10月27日(木)夜に今年も実施されます。▼現在、各部会を中心に、現行『まちづくり計画』の評価と新『まちづくり計画』原案づくりを進めています。▼5年先10年先を見越した計画になるよう、みなさまのお声を各部会・各区へお寄せください。(西田方計)

◎事務局だより◎

跡地利活用検討委員会より

これまでもお伝えしているように、まちづくり協議会では、保育園跡地利活用検討委員会を立ち上げました。区長部会の推薦を経て、森下伸子さん(下町区)と前田明伸さん(野村区)の2名に公募委員として入っていただいております。

現在、委員会では関係機関・有識者等へのヒヤリングや関係機関の視察、伊賀市行政との懇談を進めているところです。

また、跡地を使って起業をめざそうとされる方のお問い合わせを受け付けています。(詳細は回覧文書をご覧ください。)

検討委員会では7月16日(土)夜7時30分から、市民センターで住民説明会・懇談会を開く予定です。